

2023年

4月号

大野城市
北コミ

そら 宙まどか通信

vol.73

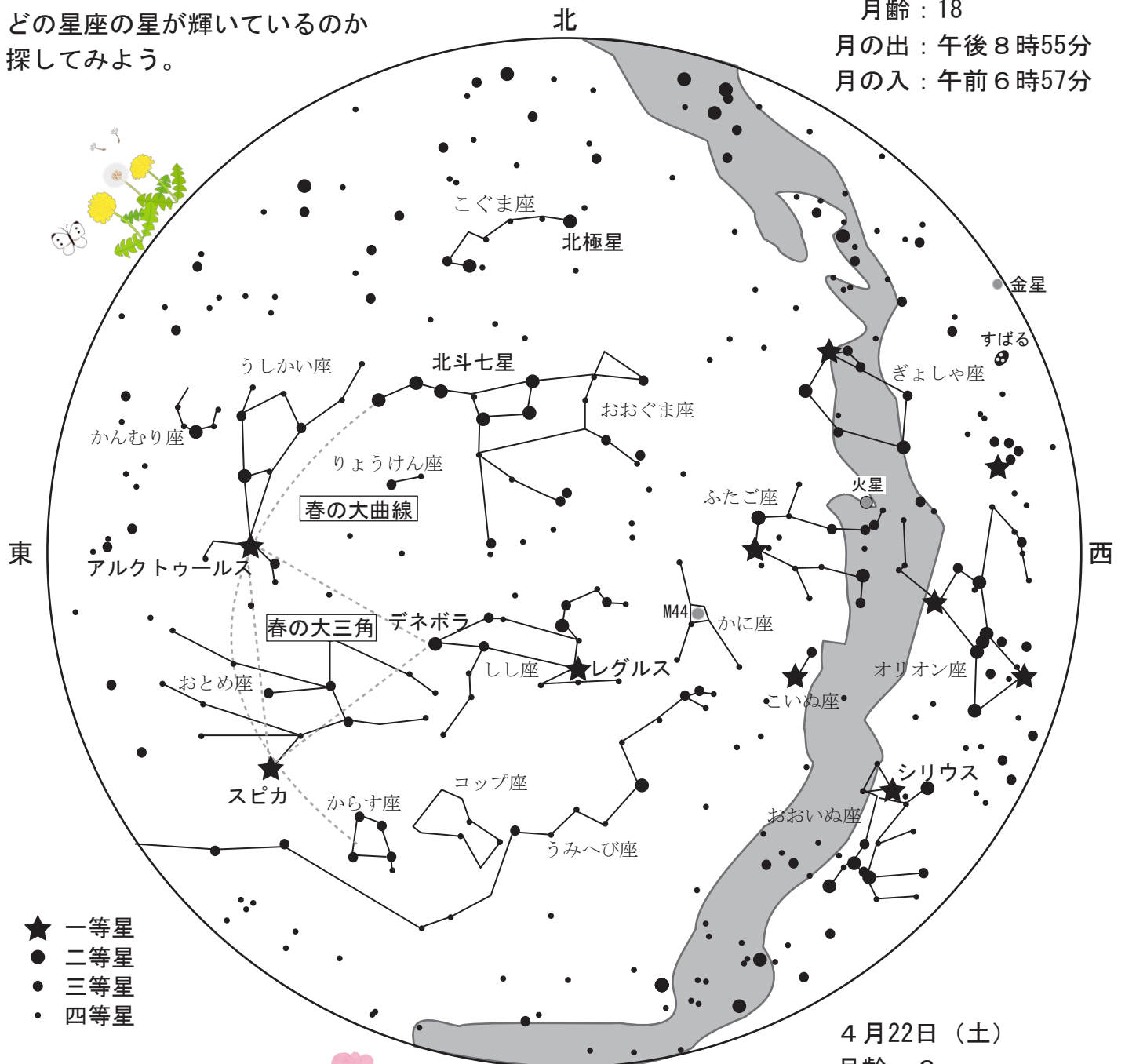
空を見上げて、
どの星座の星が輝いているのか
探してみよう。

4月8日（土）

月齢：18

月の出：午後8時55分

月の入：午前6時57分



- ★ 一等星
- 二等星
- 三等星
- 四等星

4月
1日 午後9時の星図
15日 午後8時の星図



4月22日（土）

月齢：2

月の出：午前6時45分

月の入：午後21時14分

大野城市 北コミュニティセンター

〒816-0912 福岡県大野城市御笠川一丁目17-1

TEL: 092-513-0099

FAX: 092-504-5102

休館日：毎月第3火曜日（休館日が祝日の場合はその翌日）
年末年始（12月28日から翌年1月4日まで）

開館時間：午前9時～午後9時

～フ千天文情報～



「二十四節気と七十二候」

皆さんは「二十四節気」と言う言葉を聞いたことがあるでしょうか？二十四節気とは、1年を春夏秋冬の4つの季節に分けた後、更にそれを6つに分けたもの。分けた24のものを「節気（節気と中気）」とよびます。天気予報やカレンダーなどに登場する立春や夏至、秋分、冬至といった言葉はこの二十四節気から来ています。天文では春分点に太陽が来た日を春分とし、そこから15°ごとに節気を割り振ります。

二十四節気は紀元前4世紀ごろ古代中国で発明され、その後日本に伝わりました。ただ日本と大陸では気候が異なるので、それを補う日本独自の節気（節分、彼岸、土用、入梅、八十八夜など）「雑節」が生み出され、二十四節気と一緒に使われています。

さて、では七十二候とは何でしょうか。これは二十四節気で分けた節気をさらに3つに分けたもの。こちらも古代中国で作られたもので、日本に入って使われるときにより季節を感じられるように、日本の気候にあった天気や動植物の変化を表す短文になりました。たくさんあるので気になった人は図書館などで本を読んでみてください。

最後に4月の節気と七十二候を紹介します。あまり馴染みのない七十二候ですが、二十四節気よりも身近な感じがありますね。

【4/5 清明】《全てのものが清らかで生き生きするころ》

- 4/5～4/9 玄鳥至（つばめきたる） → 渡り鳥の燕が南からやってくるころ
- 4/10～4/14 鴻雁北（こうがんきたへかえる） → 渡り鳥の雁が北へ去っていくころ
- 4/15～4/19 虹始見（にじはじめてあらわる） → 雨の後に虹が見え始めるころ



【4/20 穀雨】《穀物に天からの贈り物の雨が降るころ》

- 4/20～4/24 葭始生（あしはじめてしょうず） → 葦が芽吹き始めるころ
- 4/25～4/29 霜止出苗（しもやんでなえいづる） → 霜が終わり、稲の苗が成長するころ
- 4/30～5/5 牡丹華（ぼたんはなさく） → 牡丹の花が咲くころ



今月のイベント

4月8日（土）

午後7時～午後8時50分

「かに座を探そう」

春と冬の境目にある誕生日星座。

ひっそり輝いているので、普通に見てもなかなか見つからない。探し方を覚えて挑戦してみよう。



4月22日（土）

午後7時～午後8時50分

「おおぐまとこぐま」

大きなクマの星座と小さなクマの星座に注目！
北斗七星と北極星はココにあります。



北コミュニティセンターホームページ
<http://onojo-com.info/kita/>



4月天文カレンダー

- 5日（水） 清明（太陽黄経15°）
- 6日（木） 満月 ○
- 11日（火） 金星とプレアデス星団が最接近
- 12日（水） 水星が西方最大離角
木星が合
- 13日（木） 下弦の月 ●
- 16日（日） 月の距離が近い（36万7968km）
- 17日（月） 春の土用（太陽黄経27°）
- 20日（木） 新月 ●
金環皆既日食（インドネシアなど）
部分日食（沖縄のみ）
穀雨（太陽黄経30°）
- 21日（金） 細い月と水星が大接近
- 23日（日） 4月こと座流星群
（出現期間：4/16～4/25）
- 28日（金） 上弦の月 ●
月の距離が遠い（40万4299km）



スタードームまどかTwitter
<https://twitter.com/StarDomeMADOKA>

スタードームまどかFacebook
<https://www.facebook.com/StarDomeMADOKA/>

